

# アップグレード後に Digital Media Manager バージョン 5.4 の [RunTask] ウィンドウがハングする

## 内容

---

[はじめに](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

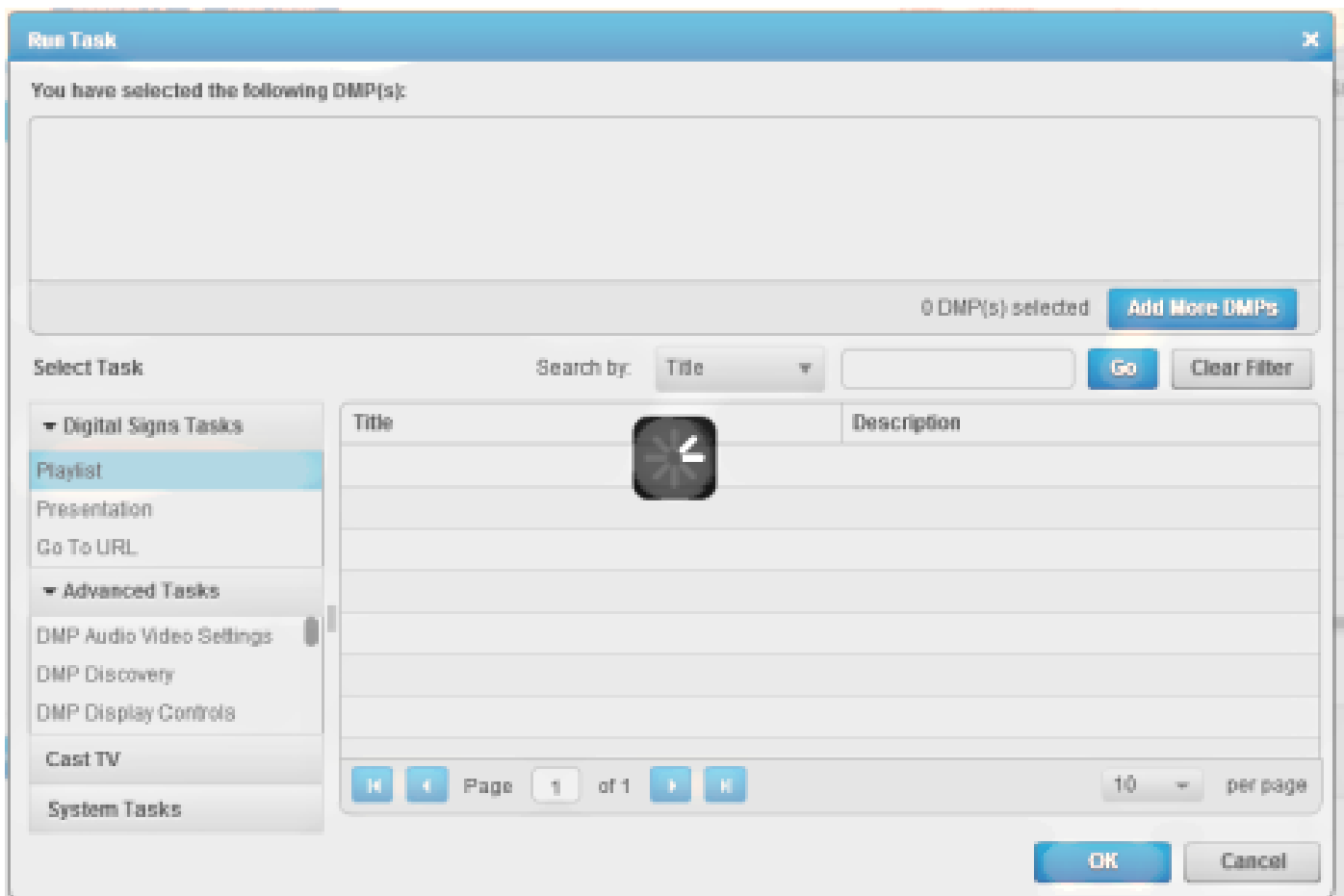
---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco Digital Media Manager(DMM)をバージョン5.4にアップグレードした後でRun Taskウィンドウがハングする問題の解決方法について説明します。

## 問題

DMMをバージョン5.4にアップグレードすると、ネットワーク管理者は[タスクの実行]オプションを使用してデジタルメディアプレーヤー(DMP)の管理を試みます。ページはロードされず、この画像にキャプチャされた連続回転アイコンが表示されます。



この問題は、コンテンツをチャンネルにアップロードしようとするときにも発生する可能性があります。

DMMバージョン5.4は適切なIPアドレスを解決できません。この問題は、バージョン5.3からのアップグレード後に最も発生する可能性があります。サブレットサーバアドレスの完全修飾ドメイン名(FQDN)の使用が強制されないためです。

DMMバージョン5.4では、サブレットのサーバアドレスに対して、IPアドレスではなくFQDNが強制的に使用されます。この問題は、Cisco Bug ID [CSCtx63069](#)に記載されています。

## 解決方法

解決策は、次に示すように、サブレットサーバアドレスをFQDNに変更することです。



## SERVER SETTINGS

**Servlet Server Address  
(FQDN)**

**DMP User Name**

**DMP User Password**

[Save](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。